ふなばし国際交流協会ニュース

＜第 34 号＞　　2006 年 11 月 24 日発行

国際交流のつどい 2006 で熱演するシャボーカレッジのジャズバンド　関連記事は P2、P3、P4

目で見る世界の国　第 10 回　フィリピン共和国

パラワン島エルニド

クリスマス･イブの
ランタンパレード

マスカラ（バコロド市）

フィリピンの位置

国旗

ひとこと紹介　　三咲　中 ネリさん

フィリピンは、7,00 を超える島々からなる国家で、アジアの東南の角にあり、日本から約４時間という場所に位置しています。

人種や信仰、習慣が何世紀にも渡る外国の影響で混ざり合った多様性を持つ多民族国家です。

気候は、１年の平均気温が約 30℃で、一年中暑いですが、乾季（12 月～5 月）には湿度は低いのでとても過ごしやすいです。

島国であるフィリピンには何千もの美しいビーチがあり、アジアのビーチ・キャピタルと言っても過言ではないほどです。

是非一度、自分の目で確かめに訪れてみてください。

注：今年は、日本･フィリピン友好年（国交正常化 50 周年）です。

ミニ情報

国　名：フィリピン共和国
面　積：29.9 万km^2（日本の 8 割）
　　7,109 の島がある
人　口：8,300 万（2004 年）
首　都：メトロ・マニラ
公用語：フィリピノ語と英語
宗　教：カトリック（83%）
　　他キリスト教（10%）
　　イスラム教（5%）
通　貨：1 ペソ＝約 2.2 円
　　（06 年 4 月現在）

船橋市・ヘイワード市姉妹都市提携　ようこそヘイワードから　20周年記念特集

アンデルセン公園訪問

市立船橋高校文化祭に参加

法田中学校と合同演奏

海神中学校で

うどいて演奏

着物で参加のヘイワード学

ハワイアンダンス

場舞台に合わせ

ウエルカムパーティー
[9 月 30 日(土)]

「つどい」で盛り上がった日の宵、テルで、訪日中のビル・クアーク団長率いるヘイワードからの親善訪問団 54 人を迎え、ウェルカム パーティーが国際交流協会主催、商工会議所共催で開催されました。
総勢 200 数十名の両市の姉妹都市提携 20 周年を祝うパーティーとなりました。

大きな会場を埋め尽くした人たちは用意されたごちそうを前に和気あいあい、英語日本語が飛び交う楽しいパーティーでした。会場で私がお話しした方々は初来日で、皆一様に「日本は美しく素晴らしい国だ、今回は心からエンジョイしている」と言われたのは嬉しくまた印象的でした。

広報委員　小山

談笑の輪

✿✿✿　ひとことコメント集　✿✿✿

井上会長が訪問団と歓談中、印象に残ったことばです。

ウエスリー・サカモト氏談（前姉妹都市委員長）
20 年の思い出として、何か一つを取り上げるのは難しいが、船橋の人たちの変わらない友情に、ついつい毎年のように来てしまいます。

ビル・クアーク氏談（ヘイワード市議会議員・団長）
着物を着せてもらって体験した、市船の生徒たちによる茶道のお点前がすてきでした。

ジョアン・ジャクソンさん談（姉妹都市委員）
打ち掛けを着せてもらって、モデルになったような気分でした。また是非来たいと思います。

ラヴィーナ・クンハさん談（姉妹都市委員）
古い民家、「さざんかの家」が気に入りました。アメリカ人も時にはこのような静寂の中で思索にふける必要があると思います。

サザンカの家で

巻きずし体験

着物体験

カリフォルニアワインとジャズの夕べ　[10 月２日(月)]

船橋グランドホテルにおいて、船橋市・ヘイワード市姉妹都市提携 20 周年記念を祝って、「カリフォルニアワインとジャズの夕べ」のイベントが行われました。ジャズコンクールで数多くの賞を受けたシャボー カレッジの学生とテニスン高校の生徒による演奏と、カリフォルニアワインを堪能しました。日ごろジャズとは無縁の聴衆も、思いがけない演奏にヘイワード市民と船橋市民が手をつなぎ踊りだすシーンや、アンコールを求めて立ち上がる姿が見られました。また船橋市を中心に活動するジャズグループも若者には、負けていられないと熱のこもった演奏を披露しました。

広報委員　福井

シャボーカレッジの演奏

テニソン高校の演奏

踊り出したヘイワードのお二人

会場も踊りの輪

ホームステイを引き受けて

北本町　矢野暁子さん(モンゴル自治区出身)

昨年は西安からの学生のホームステイを受けた。そのときは中国語で会話ができたので何も困らなかった。

今回は初めて英語圏のヘイワード市の高校生をホストファミリーとして迎えて、戸惑いと不安があった。特に食習慣が違うので３食の献立に頭を悩ませた。そして本人たちに直接聞いたところ、「寿司、うなぎ、天ぷらが大好きで嫌いな食べ物はない」と答えがかえってきてほっと一安心だった。毎日の手料理をおいしそうに全部食べてくれた。最後の夜に私たち家族は、ホームステイで受け入れたジェイソン、クリスと一緒に回転寿司に行った。支払いをしようとする２人を制して、主人は‘My family welcome party’と声をかけると２人は‘very very full, very very good. ありがとう’とこたえ全員大笑いだった。彼らは明るく積極的で遠慮などない青年だった。

短い滞在にもかかわらず、体験を通して多いに満足して楽しい思い出を作ってもらって、私は船橋市民、日本人としての交流ができたと嬉しく思う。

ようこそヘイワードから 2

ゲスト数名の方に下の質問への回答をお願いしました。

1. 何度目の来船ですか。
2. 船橋の印象は？
3. 滞在中、一番楽しかったことは？
4. 20 年間の思い出として強く残っている事は？
5. その他

ジョン・ロスコー氏(テニソン高校指揮者)

1. ３回目です。15 年前は学生として、２・3 回目は教師として来ました。
2. 船橋の人は温かく， 親切ですばらしい街です。
3. ホームステイした家族です。
4. ２０年という年月の重みです。船橋のような　　都市と友好関係を結ぶのはすばらしい。
5. レイ・鶴本氏が見事に述べたように、このつながりが１００年も続くのを希望します。

アニータ・リヴァードさん(姉妹都市委員)

1. ３回目です。
2. とてもきれいな街。とても友好的な人々。
3. 特色あるアンデルセン公園で、子どもたちが美術作品を制作しているところを見学した時です。
4. 友好的な人々。
5. 日本に抱く印象は人々がとても親切なことです。

エドワード・ホーヴァス氏(元モロー高校教師)

1. ５回目です。
2. 好感の持てる街。ららぽーと、百円ショップ、アンデルセン公園など楽しい所がいっぱい。
3. アンデルセン公園が印象深く、（アンデルセン スタジオでの）子どもたちの演技は最高に楽しめました。
4. 一番思い出深いのは市船（市立船橋高校）の生徒、先生、行政関係者とのつながりです。ヘイワード市のモロー高校で 15 年間、市船から来た交換留学生に英語を教えました。彼らは常に熱心に勉強しました。

マイク・モスレー氏(テニソン高校保護者)

1. 日本は初めてです。
2. 船橋は活気のある良い所です。市民は友好的で親切です。
3. 多くの方にお会いできたこと。とりわけ、ホストファミリーの寛大さに心打たれました。すばらしい時間を過ごせたことに対し、関係者に感謝します。我々と子どもたちに家庭を提供してくださって、ありがとうございます。

クリスティナ・ジュップさん(シャボーカレッジ学生)

1. 初めてです。
2. 船橋に深い感銘を受けました。とても清々しい街で、住み良い所と思いました。
3. 日本家庭でのホームステイ。日本料理をごちそうになり、日本の習慣を教えていただき、ホストファミリーのおもてなしに深く感謝します。
4. 公園での 20 周年記念のつどいで伝統的な踊りに参加したのがうれしかったです。

クリス・メネネズ君(テニソン高校旅行団マネジャー)

1. 初めてです。
2. 美しい街。人々が親切ですばらしい。おいしい食べ物が豊富で、活動的な街。
3. おいしい食べ物をいっぱい食べたこと。すしとてんぷら大好き！
4. バンドの一員として船橋にやって来て、友好を深め、演奏できたこと。
5. 「国際交流ニュース」Vol.34 を送ってください。

サラ・ルドルフ（自筆）さん(シャボーカレッジ学生)

1. 初めてです。
2. 大変クリーンな都会で楽しいことがいろいろできます。市民はとても親切で、私たちを温かく歓迎してくれました。
3. 土曜日に公園で踊ったことです。ホームステイしたので、文化体験ができました。法田中を訪れた時、バンド演奏がすばらしかった。
4. 両市の姉妹都市関係のことは初めて知りました。今回の旅が唯一で最高の思い出です。
5. Arigato　Funabashi（ふなばし、ありがとう）

翻訳　広報委員　野上

翻訳　広報委員　野上

国際交流のつどい 2006

秋晴れの中、各国の自慢料理、ダンス、音楽、スタンプラリー、遊びを楽しみながら、外国人との交流を深めるつどいが、9 月 30 日(土)天沼公園で行われました。

子どもたちは、「おやゆび姫」の読み聞かせに目をきらきらさせて、熱心に聴き入っていました。

おじいちゃんやお父さんは、顔に万国の旗のペイントをほどこし、また世界のあそびのコーナーでは、おばあちゃんやお母さんもみんなで、布ぞうりやコサージュを作ったりして、ことばの壁を越え、時のたつのも忘れて笑い声をたてながら、草の根交流を楽しみました。

広報委員　福井

賑わうフリーマーケット

日本語であそぼう　ふなばし 2006

7 月 22 日~24 日、宮本公民館で「地球っ子プロジェクト」主催(後援：船橋市教育委員会、船橋市国際交流協会)、日本語を母語としない児童生徒を対象に、遊びながらの子ども日本語教室が開かれた。

当日参加したのは未就学児から高校生の総数 26 名、ボランティ↘

みんなで　力を合わせて
ワッショイ　ワッショイ

ア約 20 名。子どもたちを 3 グループに分け、22 日は船橋の大地図の住所に自分の名前を書いて貼る作業から始め、手遊び歌、『お経』の群読、紙芝居の上演練習。23 日は「ふなばし市民祭り」宮本子ども神輿(みこし)に参加。24 日は群読、紙芝居を全員にお披露目し、お神輿(みこし)体験を絵日記風にまとめた。

地図を広げて
自分の家さがし

ある子が言った「みんなで気持ちを一つにして何かをするのは楽しいね!」のことばが印象的だった。

広報委員　坂井

ズームアップ

フィリピンのスラムに設立された住民による相互扶助組織「アライカパ」（ともに分かち合う）の理念に賛同し、日本でアライカパの活動を支援する「アライカパ友の会」の代表加藤信子さんにインタビューしました。

アライカパ友の会代表 加藤信子さん

ーアライカパ友の会は、どのようなきっかけで組織されたのですか？

1979年マニラで、世界宗教者平和会議が開催されました。この会議の後、すべてを捨ててスラムに入った一人のカトリックのシスターから、「欠けた石鹸でも、破れたワイシャツでもいい、折れた鉛筆でもいいから助けて欲しい」と言われたとの報告を聞きました。この話に触発され、私の所属する教会では支援活動を開始しました。当初、中古衣類や学用品などダンボール50箱を、フィリピン船の船長の好意で、無償で輸送していただいたり、貧しい人がお米を安く買えるライスプロジェクトという援助活動をしました。1993年に教会から独立し、アライカパ友の会としての活動を開始しました。

ー日本での活動はどのようにしていますか？

友の会設立当初、東部公民館や二和公民館でスライドや写真展を開きました。現在は、講演会、活動の報告会、フィリピンの料理教室、タガログ語の講習会などを開催し、友の会の会員になってくださる方を募っております。

会員になってくださる方に、年金生活者の方が多いのですが、やはり痛みが分かる人が協力してくださることを実感しております。

ー具体的な支援活動はどのようにしているのですか？

この活動に賛同してくださる会員の方々の寄付を得て、フィリピンの現地アライカパが行っているスラム各地での「給食プログラム」への支援、義務教育があっても、教育に充てる費用がないため、学校に行けない子どもや両親のいない子どもたちのために、「スポンサーシップ」を実施して、教育費を支援しております。フィリピンのアライカパの人たちは、女性を中心に、手工芸、菓子、石鹸などを製作販売することで、自立への活動をしております。私たちは、これらの作品を購入販売することで「自立への活動を支援」しております。この３つが、会の活動の基本ですが、また、毎年、現地を訪れ、菓子、ノート、衣類などを届けてもおります。

現地でこどもに囲まれて

注:現地アライカパの人たちが製作した手工芸品は9月30日の国際交流のつどいでも出品販売されました。

ー皆さんに訴えたいことは？

是非、会員になってください。少額でよいのです、支援くださり、われわれの活動に参加してください。

広報委員 遠藤

お知らせ

第17期カリフォルニア州立大学短期留学

姉妹都市アメリカ・ヘイワード市にあるカリフォルニア州立大学イーストベイ校への留学です。期間は、平成19年9月中旬～20年6月までの9ヶ月間。授業料の7割免除や学生寮への優先入寮、市民交流など姉妹都市ならではの制度です。

＜対象＞次のすべてに該当する人①日本国籍を有し、市内に1年以上継続して居住している（親元を離れ市外の大学へ通学する場合も含む）②昭和62年4月1日以前に生まれ高校を卒業している③TOEFL 525点(CBT 197点)以上を取得している

＜選考方法＞1次：書類選考、2次：面接

＜申込み＞平成19年2月26日までに所定の用紙に必要事項を記入し事務局へ

千葉県とブラジルの交流拠点を目指して

2007年に設立50周年を迎えるブラジル千葉県人会では、記念事業として、ブラジル千葉県人会館の建設を計画しており、この記念事業に向けた募金活動を実施しています。

詳しくは、ブラジル千葉県人会設立50周年記念事業協賛会事務局 ℡043－297-0245 へお問い合わせください。

あとがき

「国際交流のつどい」には多くの参加者があり、だれもが楽しめる素晴らしい一日となった。

ヘイワードの大学生や高校生による音楽演奏なども行われ、好評を博した。フェイスペインティングで彩られてかわいい表情になった子どもや若返った中高年男女もにこやかだった。

ヘイワードからの訪問団との姉妹都市提携20周年記念パーティーなども大盛況であった。ヘイワードの皆さんも船橋市民との交流を心ゆくまで楽しんだ様子である。

私たち広報委員は取材や写真撮影に飛び回ったが、心地よい疲れをカリフォルニア ワインで癒し、快眠できた。 (TI)

〈発行〉船橋市国際交流協会 〈事務局〉船橋市役所国際交流室内 〒273-8501 船橋市湊町2-10-25
TEL 047-436-2083 FAX 047-436-2089 ホームページアドレス http://www.fira.jp

〈発行〉船橋市国際交流協会 〈事務局〉船橋市役所国際交流室内 〒273-8501 船橋市湊町 2-10-25
TEL 047-436-2083 FAX 047-436-2089 ホームページアドレス http://www.fira.jp